



もの



福祉



介護



これ



が  
た  
り



の  
と



か  
ら



2019年2月17日(日)



11:00~17:00



グローバルゲート 1階アトリウム



の



1日限定  
開催!

介護や福祉の現場はものがたりの宝庫だった!!

「これからの介護・福祉の仕事を考えるデザインスクール」では、

全国8ブロックで介護や福祉の現場で働く人たち、クリエイターや学生、

様々な職種の人たちが一緒になって介護や福祉のこれからについて考えてきました。

中部ブロックから生まれたこれからの介護や福祉にシフトする8つの企画を、

たくさんの方々に見て知って感じてもらう

「これからの介護と福祉のものがたり」1日限定のイベントを開催します。

展示会、体験会、対話の場、トークセッションなど、

さまざまなプログラムをご用意しています。

このものがたりの結末には、わくわくする介護や福祉の世界が広がっているはず。

ものがたりの世界をのぞきに來ませんか?

これからの  
介護・福祉の仕事を考える

デザイン  
スクール

「これからの介護・福祉の仕事を考えるデザインスクール 中部ブロック」では、約50人のスクールのメンバーが8チームにわかれて企画をつくりました。これからの介護・福祉を考える展示、体験会をお楽しみください。

これからの  
介護・福祉の仕事を考える

デザイン  
スクール

<p><b>第1章</b> 五感で楽しむおやつのおじかんサーカス団がやってきた!</p> <p>介護施設でのおやつのおじかんをワクワクするものに変えるサーカス団が登場!</p>	<p><b>第5章</b> これからの介護職の求人はこれだ! 「俺の求人票」</p> <p>将来必要とされる介護職員と一緒に遊んでくれる人!? 未来の求人票をつくっちゃえ!</p>
<p><b>第2章</b> 日常身に付けるものが薬になるってほんと? 藍染めによる「服薬」</p> <p>下着など身に付けるものを藍染めに。施設のライフスタイルに合わせた「服薬」の提案</p>	<p><b>第6章</b> おやじの介護がリアルにわかっちゃうゲームが登場!</p> <p>おやじの介護はある日突然やってくる! 介護のプロと一緒に楽しむゲームが登場</p>
<p><b>第3章</b> 介護施設でクラフトビールが作れるって本当?</p> <p>年をとってもワクワクする時間を! 地域の人が夜な夜な集まる介護施設って?</p>	<p><b>第7章</b> 丁寧じゃなくてもいいんじゃない? 「雑な暮らし」展をみてみよう!</p> <p>高齢者や障害のある人の暮らしの中にはヒントがたくさん! 雑な暮らしを提案</p>
<p><b>第4章</b> 要介護状態になった人だけが働ける会社をつくらう!</p> <p>これからは高齢者が若者を支える時代に 2020年「おんぶにだっこ」新会社を設立!</p>	<p><b>第8章</b> 若者がとにかくポジティブに考える自分らしい最期って?</p> <p>介護施設に入ってからじゃ遅すぎる! 若いうちから自分らしい最期を考える対話型プログラム</p>

トークセッション

未来の介護や福祉はどうなるの!? 14:00 ~ 15:30

自分たちが高齢者になった時にどんな介護を受けたいか、そのとき地域や社会に求められることは。さまざまな地域を見てきた2人だから見える「未来の介護や福祉」についてお話しします。



兼松 佳宏

勉強家 / 京都精華大学人文学部 特任講師

1979年生まれ。ウェブデザイナーとしてNPO支援に関わりながら、「デザインは世界を変えられる?」をテーマに世界中のデザイナーへのインタビューを連載。その後、ソーシャルデザインのためのヒントを発信するウェブマガジン「greenz.jp」の立ち上げに関わり、10年から15年まで編集長。2016年、フリーランスの勉強家として独立し、著述家、京都精華大学人文学部特任講師、ひとりで/みんなで勉強する「co-study」のための空間づくりの手法「スタディホール」研究者として、教育分野を中心に活動中。著書に「beの肩書き」「ソーシャルデザイン」、連載に「空海とソーシャルデザイン」「学び方のレシピ」など。秋田県出身、京都府在住。一児の父。  
<http://studyhall.jp>



山崎 亮

studio-L代表 / コミュニティデザイナー / 社会福祉士

1973年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士(工学)。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。著書に「ふるさとを元気にする仕事(ちくまプリマー新書)」、「コミュニティデザインの湧流(太田出版)」、「縮充する日本(PHP新書)」、「地域ごはん日記(バイインターナショナル)」など。

これからの介護・福祉の仕事を考える  
デザインスクールとは?

「これからの介護・福祉の仕事を考えるデザインスクール」は、介護・福祉人材の確保や介護や福祉に対するイメージの向上を目的として全国8ブロックで開催しているワークショップ形式のスクールです。介護・福祉の現場で働く人をはじめとして、クリエイターや学生、その他多様な立場の参加者が混ざり合って「これから」を考えてきました。2018年8月からスタートしたスクールでは、全国で450人が参加し、70の企画が生まれました。全国で誕生した70の企画は、3月に開催される東京での展示会でお披露目されます。

<https://korekara-pj.net/school/>

おいおい、おい展 - 生き方・介護・福祉のデザインを考える5日間 -

日時: 2019年3月21日(木) ~ 25日(月) 10:00 ~ 20:00 会場: 3331 Arts Chiyoda 1Fメインギャラリー

主催: 株式会社studio-L 平成30年度厚生労働省補助事業 問合せ先: [kaigo\\_ch@studio-l.org](mailto:kaigo_ch@studio-l.org)

会場案内

グローバルゲート

〒453-6101 名古屋市中村区平池町4-60-12  
<https://shops.globalgate.nagoya/>



電車をご利用の場合

名古屋駅からは「あおなみ線」利用でわずか約3分。あおなみ線・ささしまライブ駅と歩行者デッキで直結しています。